

週間漁海況情報 2026年第36号

令和8年9月15日発行

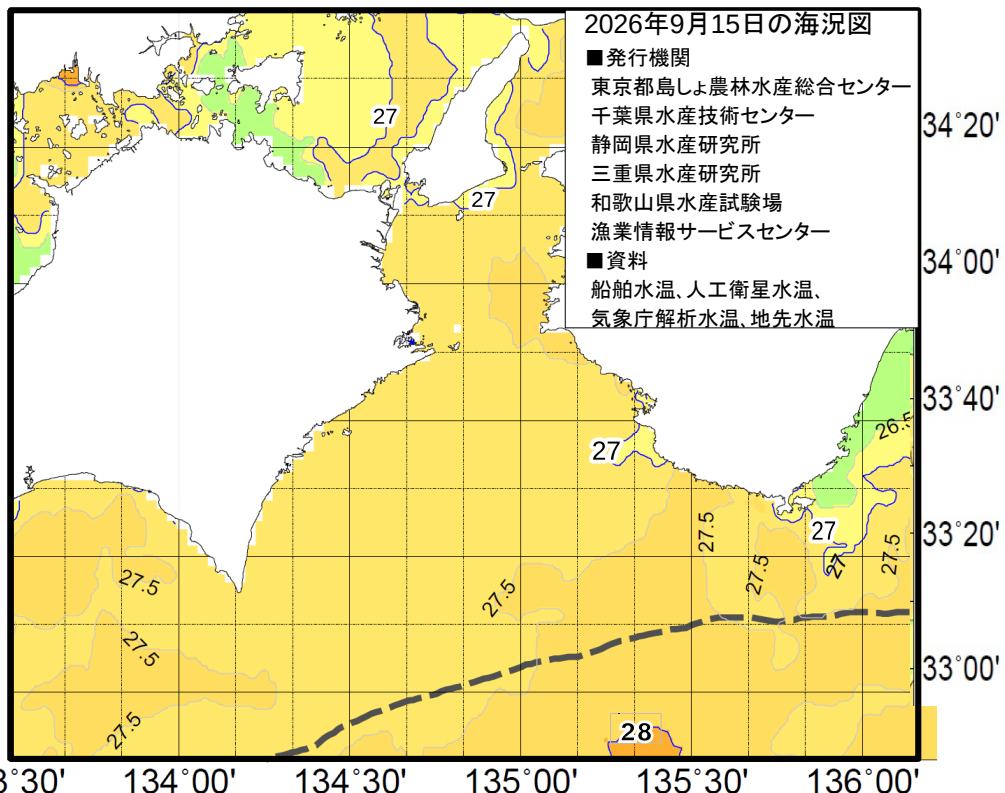
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖40マイル付近、潮岬沖25マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は27～28℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で26～27、紀伊水道で27、海部沿岸で27℃台となっている。



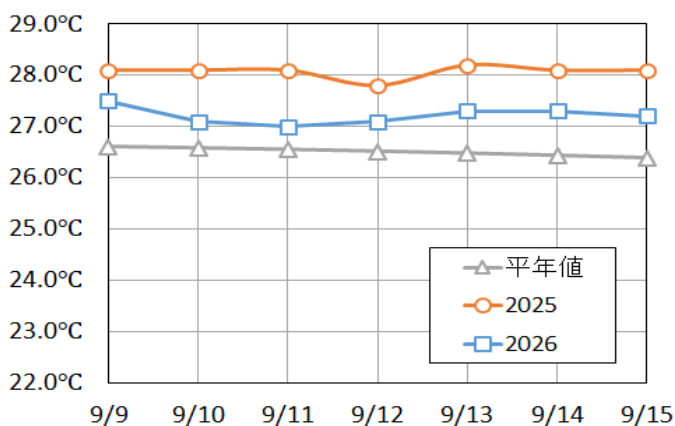
※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

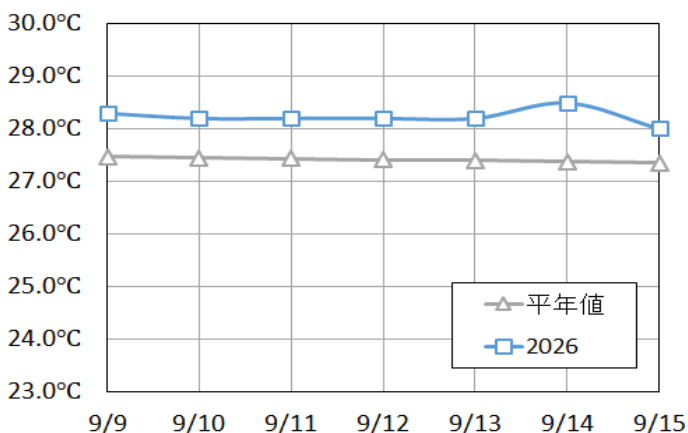
2. 地先水温(9月9日～9月15日)

鳴門地区の水温は、27.5～27.2℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、28.3～28.0℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、0.8～1.2℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報(9月16日～9月22日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況

(9月7日～9月13日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが減って31.2トン水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて2.6トン、ハモが大きく減って中主体に1.9トン水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って中主体に0.8トン、いとより類が小主体に0.5トン、

クマエビが0.2トン水揚げされた。

小型定置網では、ゴマサバが大きく増えて0.6トン、マダイが大きく増えて0.2トン、

イサキが大きく増えて大主体に0.2トン、マルアジが増えて小主体に0.2トン水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、キハダが大きく増えて0.5トン、シイラが大きく増えて0.3トン水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく増えて0.7トン、

ウルメイワシが大きく増えて0.4トン水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.15トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	45	シラス	31,185	693		↘
	延縄	37	サワラ	2,553	69		↗
		18	ハモ	1,938	108	中主体	↘↘
	底びき網	9	ハモ	772	86	中主体	↘↘
		8	いとより類	485	61	小主体	→
		8	クマエビ	236	29		→
	小型定置網	6	ゴマサバ	576	96		↗↗
		11	マダイ	198	18		↗↗
		9	イサキ	197	22	大主体	↗↗
		10	マルアジ	179	18	小主体	↗
海部沿岸	釣り	13	キハダ	503	39		↗↗
		7	シイラ	349	50		↗↗
	小型定置網	5	かます類	733	147		↗↗
		2	ウルメイワシ	353	177		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘